



## 2021年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年2月14日

上場会社名 かっこ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4166 URL <https://cacco.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 岩井 裕之  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門管掌CFO (氏名) 関根 健太郎 TEL 03 (6447) 4534  
 定時株主総会開催予定日 2022年3月29日 配当支払開始予定日 -  
 有価証券報告書提出予定日 2022年3月31日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期の業績（2021年1月1日～2021年12月31日）

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	951	14.4	178	29.5	170	47.9	120	△7.5
2020年12月期	831	11.5	138	39.5	115	26.2	130	13.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	45.90	42.26	10.0	10.5	18.8
2020年12月期	55.37	49.97	15.9	8.5	16.6

(参考) 持分法投資損益 2021年12月期 △0百万円 2020年12月期 -百万円

- (注) 1. 当社は、2020年9月9日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 当社株式は、2020年12月17日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から前事業年度末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	1,417	1,273	89.6	483.07
2020年12月期	1,822	1,148	62.8	437.15

(参考) 自己資本 2021年12月期 1,268百万円 2020年12月期 1,145百万円

- (注) 当社は、2020年9月9日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	149	△134	△507	800
2020年12月期	166	△197	734	1,293

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2021年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2022年12月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00		-	

## 3. 2022年12月期の業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,102	15.9	191	7.1	195	14.5	137	14.3	52.28

（注）当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

### ※ 注記事項

#### （1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

#### （2）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年12月期	2,629,382株	2020年12月期	2,619,581株
2021年12月期	-株	2020年12月期	-株
2021年12月期	2,621,245株	2020年12月期	2,348,611株

（注）当社は、2020年9月9日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した株式数を記載しております。

### ※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明内容の入手方法）

決算補足説明資料「2021年12月期通期決算説明資料」は、T D n e t で同日開示した後に当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、当社は、2022年2月14日（月）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画及び当日配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(2021年1月1日～2021年12月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の停滞により、企業業績の悪化や個人消費の落ち込みなど、厳しい経済環境となりました。足元では、ワクチン接種が促進される中、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和され、持ち直しの動きが見られたものの、変異株の急激な拡大等、依然として先行きは不透明な状況となっております。

消費者向け電子商取引(BtoC-EC)市場は、経済産業省による2020年の調査「令和2年度産業経済研究委託事業(電子商取引に関する市場調査)報告書」によると、主として旅行サービスの縮小に伴うサービス系分野の大幅な減少により、市場全体は前年比0.43%減の19.3兆円にとどまったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の対策として外出自粛の呼びかけ及びECの利用が推奨された結果、物販系分野は前年比21.71%増と大幅な拡大となりました。また、EC化率(全ての商取引市場規模に対する電子商取引市場規模の割合)が前年比1.32ポイント増の8.08%となるなど、BtoC-EC市場は依然として着実な成長を続けております。

一方、クレジットカード番号等の情報を盗まれ不正に使われる「番号盗用被害」が急増している近年の状況を受け、改正割賦販売法において、クレジットカード番号等の不正な利用を防止するために必要な措置を講じることが義務化され、また、その実務上の指針となる、「クレジットカード・セキュリティガイドライン2.0版(クレジットカード取引セキュリティ協議会)」においては、非対面取引におけるクレジットカードの不正利用対策として、加盟店に対して「属性・行動分析(不正検知システム)」等の方策をリスク状況に応じて導入することが求められるなど、不正対策に対する社会的要請はますます高まっております。

このような事業環境のもとで、当社は「未来のゲームチェンジャーの『まずやってみよう』をカタチに」という経営ビジョンを掲げ、当社の有するセキュリティ・ペイメント・データサイエンスの技術とノウハウをもとに、アルゴリズム及びソフトウェアを開発・提供することで、企業の課題解決やチャレンジを支援する「SaaS型アルゴリズム提供事業」を展開してまいりました。

不正検知サービスにおいては、不正注文検知サービス「O-PLUX」について、上限額なしでクレジットカードの不正利用被害を補償する「O-PLUX Premium Plus(出荷判断代行サービス)」、月額4,000円から利用可能な不正注文検知サービス「不正チェッカー」のリリース等、サービスラインナップの拡充を図るとともに、ECパッケージ・ショッピングカートとのシステム連携、カード会社とのパートナー契約締結等、アライアンスの推進に努めた結果、新規顧客の増加及び既存顧客の持続的な成長により、当事業年度の「O-PLUX」のストック収益額(定額課金である月額料金と審査件数に応じた従量課金である審査料金の合計額)は690,008千円(前年同期比16.0%増)に拡大しました。また、不正アクセス検知サービス「O-MOTION」について、低価格で利用可能な新たなラインナップ「O-MOTION Light」をリリースする等、引き続きサービスの拡充を図るとともに、多分野での販路開拓に取り組んでまいりました。

決済コンサルティングサービスにおいては、システム開発案件の受注獲得に努め、また、データサイエンスサービスにおいては、1億レコードまで30営業日で集計・解析・報告を行う新たなデータ分析サービス「さきがけKPI」の販売拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は951,141千円(前年同期比14.4%増)、営業利益178,928千円(前年同期比29.5%増)、経常利益170,844千円(前年同期比47.9%増)、当期純利益120,311千円(前年同期比7.5%減)となりました。

なお、当社はSaaS型アルゴリズム提供事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当事業年度末における流動資産は944,516千円となり、前事業年度末に比べ458,249千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が492,530千円減少したことによるものであります。固定資産は472,942千円となり、前事業年度末に比べ52,769千円増加いたしました。これは主に、不正検知サービスにおけるシステムのアーキテクチャ刷新に伴うソフトウェア開発により、ソフトウェアが371,629千円増加、ソフトウェア仮勘定が295,730千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,417,458千円となり、前事業年度末に比べ405,479千円減少いたしました。

#### (負債)

当事業年度末における流動負債は142,180千円となり、前事業年度末に比べ241,302千円減少いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が184,893千円減少、1年内償還予定の社債が30,000千円減少、未払金が48,667千円減少したことによるものであります。固定負債は1,797千円となり、前事業年度末に比べ289,212千円減少いたしました。これは主に、財務体質の改善及び経営効率の向上を目的とした有利子負債の繰上返済により、長

期借入金が214,212千円減少、社債が75,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は143,977千円となり、前事業年度末に比べ530,514千円減少いたしました。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は1,273,480千円となり、前事業年度末に比べ125,034千円増加いたしました。これは主に、当期純利益の計上により、利益剰余金が120,311千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は89.6% (前事業年度末は62.8%) となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物 (以下、「資金」という。) は、前事業年度末に比べ492,530千円減少し、800,647千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、149,656千円 (前事業年度は166,755千円の収入) となりました。これは主に、税引前当期純利益170,844千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、134,248千円 (前事業年度は197,669千円の支出) となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出122,972千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、507,938千円 (前事業年度は734,080千円の収入) となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出399,105千円及び社債の償還による支出105,783千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、EC市場の持続的な成長及びオンライン決済における不正被害の急増、並びに法規制等の不正対策に対する社会的要請の高まりといった事業環境にあつて、当社の不正検知サービスのニーズはますます高まるものと考えております。

不正注文検知サービス「O-PLUX」においては、ECパッケージ・ショッピングカートとのシステム連携、低価格ラインナップの投入等により、導入障壁の解消を図るとともに、機能拡充・サービス領域拡張によるプロダクトの付加価値向上、アライアンス推進による販路拡大等に取り組むことにより、更なる成長の実現に努めてまいります。また、不正アクセス検知サービス「O-MOTION」においては、更なるプロダクトの強化及びアライアンスの推進等に取り組むことにより、より一層の販売拡大に努めてまいります。

決済コンサルティングサービスにおいては、SaaS型後払い決済システムの提供準備を進め、データサイエンスサービスにおいては、「さきがけKPI」の販売拡大により、新たな収益機会の獲得に努めてまいります。

上記を踏まえ、2022年12月期 (2022年1月1日～2022年12月31日) 通期の業績見通しにつきましては、売上高1,102百万円 (前年同期比15.9%増)、営業利益191百万円 (前年同期比7.1%増)、経常利益195百万円 (前年同期比14.5%増)、当期純利益137百万円 (前年同期比14.3%増) を予想しております。

業績予想の詳細につきましては、T D n e t 及び当社ウェブサイトに掲載しております「2021年12月期通期決算説明資料」をご参照ください。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響につきましては、先行き不透明な状況であることから、上記見通しは終息時期及び社会情勢によって変動する可能性があります。また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間及び企業間の比較可能性を確保するため、会計基準につきましては、日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当事業年度 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,293,177	800,647
売掛金	89,922	112,908
仕掛品	135	—
前払費用	16,580	28,823
その他	2,950	2,135
流動資産合計	1,402,765	944,516
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,024	9,470
減価償却累計額	△2,663	△3,311
建物(純額)	6,360	6,159
工具、器具及び備品	21,748	25,055
減価償却累計額	△15,685	△19,949
工具、器具及び備品(純額)	6,062	5,105
有形固定資産合計	12,423	11,265
無形固定資産		
ソフトウェア	16,834	388,464
ソフトウェア仮勘定	295,730	—
その他	1,414	1,200
無形固定資産合計	313,979	389,664
投資その他の資産		
投資有価証券	22,389	28,859
関係会社株式	—	1,000
敷金及び保証金	7,655	7,272
繰延税金資産	63,714	34,715
その他	10	164
投資その他の資産合計	93,769	72,012
固定資産合計	420,172	472,942
資産合計	1,822,938	1,417,458

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当事業年度 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	14,355	27,953
1年内返済予定の長期借入金	189,177	4,284
1年内償還予定の社債	30,000	—
未払金	88,316	39,649
未払法人税等	24,050	18,584
未払消費税等	13,037	25,592
賞与引当金	11,763	11,511
その他	12,782	14,605
流動負債合計	383,483	142,180
固定負債		
長期借入金	216,009	1,797
社債	75,000	—
固定負債合計	291,009	1,797
負債合計	674,492	143,977
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	362,499	364,548
資本剰余金		
資本準備金	538,710	540,759
資本剰余金合計	538,710	540,759
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	244,524	364,836
利益剰余金合計	244,524	364,836
株主資本合計	1,145,733	1,270,144
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△588	36
評価・換算差額等合計	△588	36
新株予約権	3,300	3,300
純資産合計	1,148,445	1,273,480
負債純資産合計	1,822,938	1,417,458

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	831,354	951,141
売上原価	243,573	260,229
売上総利益	587,781	690,911
販売費及び一般管理費	449,660	511,983
営業利益	138,120	178,928
営業外収益		
受取利息及び配当金	113	202
受取手数料	13	507
還付加算金	55	—
経営指導料	—	2,000
営業外収益合計	183	2,710
営業外費用		
支払利息	6,776	3,355
為替差損	605	883
上場関連費用	15,423	—
システム障害対応費用	—	4,781
その他	—	1,773
営業外費用合計	22,806	10,794
経常利益	115,497	170,844
税引前当期純利益	115,497	170,844
法人税、住民税及び事業税	15,624	21,835
法人税等調整額	△30,162	28,697
法人税等合計	△14,537	50,532
当期純利益	130,035	120,311

売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)		当事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 労務費		60,580	25.1	63,339	24.4
II 経費	※	180,848	74.9	196,755	75.6
当期総製造費用		241,429	100.0	260,094	100.0
期首仕掛品たな卸高		2,278		135	
合計		243,708		260,229	
期末仕掛品たな卸高		135		—	
当期売上原価		243,573		260,229	

原価計算の方法

原価計算の方法は個別原価計算であり、原則として当該原価計算期間の実際発生額をもって計算しております。

※ 主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
外注加工費 (千円)	98,748	97,051
サーバー費 (千円)	39,500	45,307
データ費 (千円)	27,413	29,143

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					株主資本 合計	評価・換算差額等		新株予約 権	純資産合 計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計		
		資本準備 金	資本剰余 金合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余 金合計					
当期首残高	100,000	276,211	276,211	114,488	114,488	490,700	265	265	3,300	494,266
当期変動額										
新株の発行	262,499	262,499	262,499			524,998				524,998
当期純利益				130,035	130,035	130,035				130,035
株主資本以外 の項目の当期 変動額 (純 額)							△853	△853	—	△853
当期変動額合計	262,499	262,499	262,499	130,035	130,035	655,033	△853	△853	—	654,179
当期末残高	362,499	538,710	538,710	244,524	244,524	1,145,733	△588	△588	3,300	1,148,445

当事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					株主資本 合計	評価・換算差額等		新株予約 権	純資産合 計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計		
		資本準備 金	資本剰余 金合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余 金合計					
当期首残高	362,499	538,710	538,710	244,524	244,524	1,145,733	△588	△588	3,300	1,148,445
当期変動額										
新株の発行	2,049	2,049	2,049			4,098				4,098
当期純利益				120,311	120,311	120,311				120,311
株主資本以外 の項目の当期 変動額 (純 額)							624	624	—	624
当期変動額合計	2,049	2,049	2,049	120,311	120,311	124,410	624	624	—	125,034
当期末残高	364,548	540,759	540,759	364,836	364,836	1,270,144	36	36	3,300	1,273,480

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	115,497	170,844
減価償却費及びその他の償却費	9,283	17,712
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,111	△252
受取利息及び受取配当金	△113	△202
支払利息	6,776	3,355
上場関連費用	15,423	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△15,102	△21,711
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,143	135
未収消費税等の増減額 (△は増加)	5,667	—
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△159	△11,594
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,032	13,598
未払金の増減額 (△は減少)	2,882	△6,809
未払消費税等の増減額 (△は減少)	13,037	12,555
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	12,253	△2,063
その他	883	783
<b>小計</b>	<b>170,553</b>	<b>176,351</b>
利息及び配当金の受取額	113	202
利息の支払額	△6,676	△3,455
法人税等の還付額	3,055	—
法人税等の支払額	△290	△23,441
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>166,755</b>	<b>149,656</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△20,526	△5,543
有形固定資産の取得による支出	△4,678	△4,741
無形固定資産の取得による支出	△166,021	△122,972
関係会社株式の取得による支出	—	△1,000
敷金及び保証金の差入による支出	△6,443	—
その他	—	9
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△197,669</b>	<b>△134,248</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△52,642	△399,105
社債の償還による支出	△30,000	△105,783
株式の発行による収入	524,998	4,098
上場関連費用の支出	△8,275	△7,148
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>734,080</b>	<b>△507,938</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	703,166	△492,530
現金及び現金同等物の期首残高	590,011	1,293,177
現金及び現金同等物の期末残高	1,293,177	800,647

(5) 財務諸表に関する注記事項  
 (継続企業の前提に関する注記)  
 該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (2020年 12月 31日)	当事業年度 (2021年 12月 31日)
関連会社に対する投資の金額	—	1,000
持分法を適用した場合の投資の金額	—	950

	前事業年度 (自 2020年 1月 1日 至 2020年 12月 31日)	当事業年度 (自 2021年 1月 1日 至 2021年 12月 31日)
持分法を適用した場合の投資利益の金額	—	△50

(注) 前事業年度については、関連会社がないため記載しておりません。

(セグメント情報等)

当社は、SaaS型アルゴリズム提供事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり純資産額	437.15円	483.07円
1株当たり当期純利益	55.37円	45.90円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	49.97円	42.26円

- (注) 1. 当社は、2020年9月9日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 当社は、2020年12月17日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から前事業年度末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益 (千円)	130,035	120,311
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (千円)	130,035	120,311
普通株式の期中平均株式数 (株)	2,348,611	2,621,245
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	253,585	225,662
(うち、新株予約権 (株))	(253,585)	(225,662)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。